

# 水防工法に使用する主な縄結び

「水防工法テキスト」(一財)北海道河川財団より

## ① 「の」の字結び



別名「の」の字掛け「交差結び」ともいう。  
※「半結び」: 結ぶ=固定が伴わないことから「結び」といわず「縄を殺す(動かなくする)」と言っていた。(※印注釈: 河村氏)

## ③ フナ結び



別名「ひと結び」ともいう。元なわに力がかけると固く結ばれ、力がかけなくなると簡単にほどける。※舟を係留する時の結び。「8の字結び」という地域もある。

## ⑤ イボ結び ※「本結び」も使用



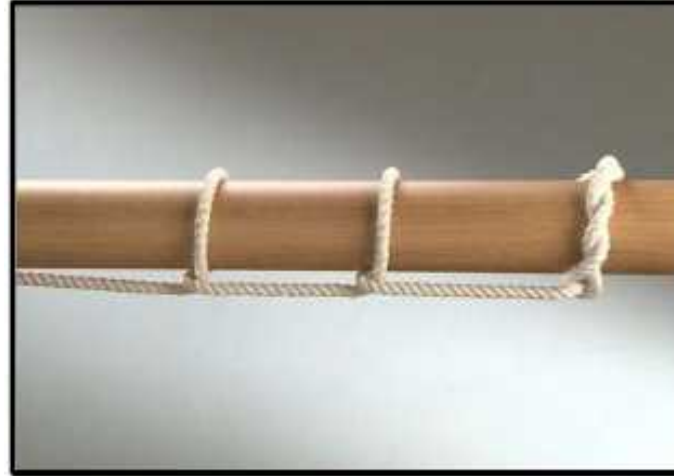
別名「男結び」「俵結び」「垣根結び」ともいう。雪つり、荷物の梱包などにも使う。  
※「男結び」は男の角帯の結び方からついた呼び方。

## ② かみくし



別名「巻き結び」ともいう。  
両端に力がかけるところに使う。  
※徳利等を吊り下げる時は「徳利結び」

## ④ イワシ結び



別名「引き綱結び」ともいう。※尺物のつり上げ、引っ張る時のブレ止めを行う時に取り付ける縄。という意味で「介錯縄」と言っていた。

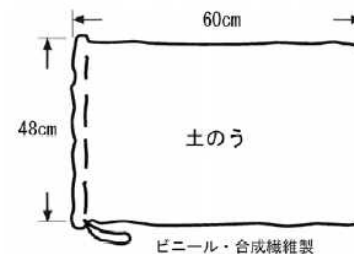
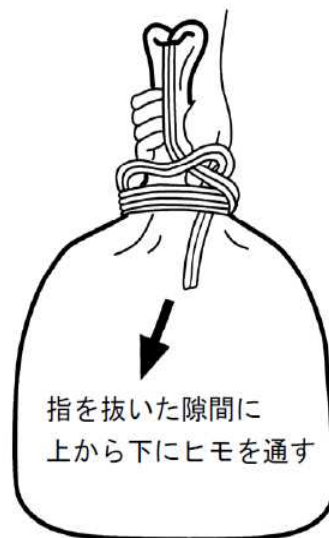
## ⑥ もやい結び



命綱等に使う。※舟が舟を曳航する時の結び。その様子を蓮根が繋がった状態に見えることから、「連舫」ともいう

# 水防工法に使用する土のう作り

「水防工法の基礎知識」(社)全国防災協会より  
「水防工法テキスト」(一財)北海道河川財団より



## ■用途

水防工法の基本ともなる土のう (ビニール・合成繊維等) を作る作業です。土のうは48cm×60cmのものを使用します。

## ■手順

①スコップで4~5杯の土を入れると袋の約7~8割になります。その重さは、およそ25~30kgです。

②袋のはしに出ていたヒモを引いて、袋の口をしぼります。

しぼりおえたら親指を添え、その指の上をヒモを2回まわします。指を抜き、ヒモを上から下へ通し、引いて締めます。



# 水防工法に使用する杭拵え

「水防工法の基礎知識」(社)全国防災協会より



丸太 直径9~10cm、長さ1.2m程度

工具 斧または鉋等、台木

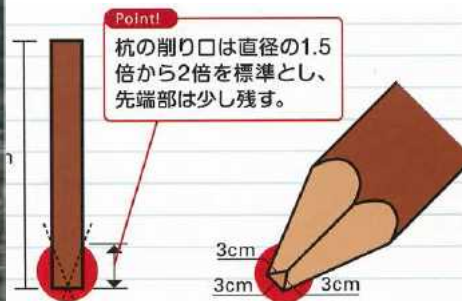


- ・杭の直径の1.5倍くらいの箇所から3面を削る。
- ・3面を削ると、杭を打つときまっすぐに入りやすい。



- ・斧や鉋などを使う危険な作業のため2人の姿勢が大切。
- ・杭を持つ人は、杭を少し斜めにかまえ肩に添え、両手がかかえ杭先が動かないようがっちり支える。
- ・丸太を回しながら、3面を削りやすいようにする。
- ・鉋を持つ人は片ひざをつき、体を安定させる。

杭長さ1m20cm程度



直径9~10cm程度



- ・杭の先端は3cm程度残す。